

## ATR-Corpus: AIで活用される高品質データベース

### 概要

ATRコーパス(Corpus)は、音声翻訳、音声知覚、顔認知のATR最先端研究で生まれ培われた高品質なデータベースです。ATR-Promotionsコーパス事業部製品として音声言語、実環境雑音、顔表情画像の3つのカテゴリーがあり、大学、研究機関の基礎研究から、AI音声翻訳などの実用製品サービスまで豊富な利用実績を重ねています。

### 特徴

- 音声言語: 音声認識、音声合成、機械翻訳のほか音声分析、話者認証など多様な用途に対応可能なデータベースです。音声コミュニケーションサービスなどの基本データとして活用されています。
- 実環境雑音: 駅コンコース、電車内、ゲームセンターや建設工事現場など、身近な日常環境の多種多様な雑音70種類を収録したデータベースです。雑音に強い音認識技術、環境騒音アセスメントなどに利用されています。
- 顔表情画像: 顔認知研究の実験刺激データとして作成された静止画像データベースです。10名のモデルが10種類の表情を表出しています。多くの大学や研究機関において心理学研究/教育などに利用されています。

### 今後の展開

- 新製品リリース: 新ATR503文音声データベース製品、48kHzサンプリング音声データベース、顔表情映像データ製品
- 未整備コーパスの製品化: FASTSLOW音声データベース(早口・遅口音声)

### テーマ「Society5.0への貢献～サイバーとフィジカルの融合に向けて～」との関連

- Society5.0で実現される「必要な情報が必要な時に提供される社会」において、ATRコーパスを利用したAI音声コミュニケーションサービスの活用が期待されます。

